

りたるもの次の如し。

右(一)、(二)の合計額

三七一、三九〇圓

種別 面積 騰貴率 騰貴額

其他金額に算出し得ざる利益

宅地 二、〇〇〇坪 坪當一、〇〇〇 二、〇〇〇圓

一、幅員の擴張に依り自動車交通の發達可能となる

田 八五町歩 一反當五、〇〇〇 四、二五〇圓

一、主産能力の増加

畑 二〇町歩 一反當五、〇〇〇 一、〇〇〇圓

計 七、二五〇圓

# 三重縣矢ノ川峠の開鑿成る

J T 生

一號國道を松阪市で岐かれ北牟婁郡長島町、尾鷲町を経て南牟婁郡木本町に至る府縣道津木本線は指定府縣道であり所謂熊野街道として南紀地方交通の重要幹線であるが、尾鷲、木本間には海拔八〇〇米の高峰矢ノ川峠が介在して、南北の文化を遮斷し、僅かに一、六〇〇米の索道と崎嶇羊腸の小徑を以て、辛ふじて其の連絡を保ち行路の難險をかこつこと久しいものがあつた。

三重縣當局は道路政策上夙に之が改良の必要を認めてゐたが偶々鐵道省が此の路線に省營バスを計畫したのを契機として、之に工事費の一部を負擔せしむることとし、昭和九年六月實施設計に付、内務大臣の認可を受け更に其の工事費の一部に付ては農村振興事業として國庫の補助を受け同年九月工事に着手してより工を積むこと二星霜、昭和十一年九月其の完成を見るに至つたのである。工事は株式

會社間組の手に依つて行はれたが矢ノ川峠七、七六六米に亘る前人未踏の新路開鑿には難工を重ね、全山花崗岩脈である爲、ダイナマイトに依る發破作業に終始し、槌の音、爆破の響は峻峰に飜して矢ノ川の峽谷は阿修羅の巷と化し遂に即死者四名、

傷者二百數十名の尊き犠牲者を出すに至り、總指揮官上井土木課長、改修事務所長成田技師は此の二ヶ年間の思を續けて來たのであつた。

今茲に新裝成つて尾鷲、木本間四三軒のドライヴウ

エーには輕車の窓に雲烟去來する山嶽美を展開することゝなり、曩に完成した尾張大橋、伊勢大橋、熊野大橋と共に此の天嶮の克服は完全に愛知、三重、和歌山の三縣を提携

せしめ、熊野路は其の面目を一新するに至つた。今年度から改良せられることゝなつた佐田坂の工事が完成する時は尾鷲、木本兩町は其の距離と時間を短縮し、熊野灘の海の幸と吉野の山の幸の集散要衝として將來の發展を期待することが出来る。

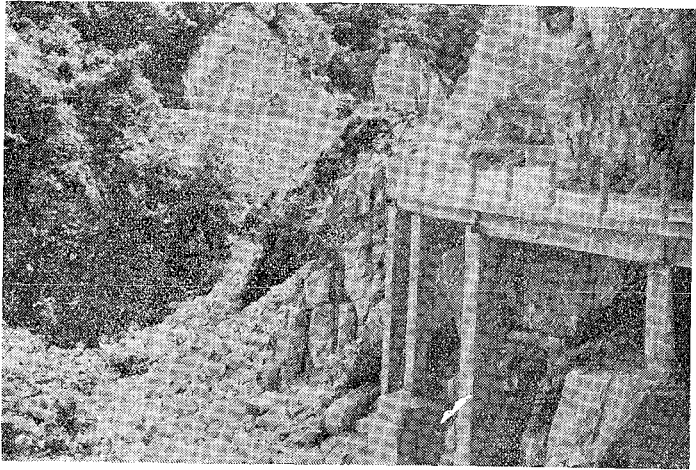


矢ノ川峠改修工事の地元尾鷲町は太古神武天皇御東征の砌り統轄し給ひし土地の一部と謂はれ史蹟に富んでゐる。東西四里、南北三里、人口一七、〇〇〇の樞要地で木材の年産額一、五〇〇、〇〇〇圓水産一、〇〇〇、〇〇〇圓、今日の不況時代に此の膨大な數字は林業、漁業の盛大さを推すことが出来よう。

尾鷲よいと朝日を受けて

浦で御説の網を曳く

本邦有数の鰯の漁場を入口に控へた指定港灣尾鷲港は寺島崎と九鬼崎とに抱かれ、桃頭、佐波留、辨財等の諸島を配して自然に良港の形態を備へてゐる。縣が總工事費一、一五〇、〇〇〇圓を以て起工した港灣修築事業は既に延長三六三米の防波堤を完成し、約一、〇〇〇坪に亘る埋立を伴ふ延長同じく三六三米の岸壁工事もほぼ終了に近く、本年度に於ては浚渫工事の一部を残すのみとなつた。町は此の工事費に對して五〇〇、〇〇〇圓を寄附したとのこと、矢ノ川峠の改修に依つて實現した道路、港灣のタイアップは、やがて數十倍の返禮として同町の繁榮を約束してゐる。



木本町も亦指定港灣木本港を控へ、吉野熊野國立公園區域に包含され、その昔鬼が棲息した

と傳へられる石英粗面の巖窟、鬼ヶ城の奇觀や、紀伊半島唯一と言はれる七里御濱の勝景を誇つてゐるが、此の度の天嶮克服が之等の觀光上に齎らす福音は極めて大であらう。

新鑿路七、七六六米は必ずしも規格工法に於て完全とは謂へないが、何人も不安を感じることなく、而かも今まで知ることの出来なかつた矢ノ川峡谷の風光を賞でながらドライヴが出来る様になつたのである。

私は工事關係者の意思と力と紅の血潮に對して深甚の尊敬と感謝を捧げたい。竣功式の直後、成田改修事務所長を助け直接工事の監督に當られた金澤技手と共に之

をドライブすることを得た私は、世人の氣付かぬ、技術者の建設の勞苦を偲んで涙なきを得なかつた。

皮肉にも難工事に苦んだ場所程、後世に名畫、名吟を生みさうな絶景が見出されたさうだが、其の中特に幽邃壯麗

なものに付て文人上井土木課長の選になる左の様な矢ノ川八景が生れたと謂ふ。

#### 一、三田谷の溪流

尾鷲町の市街地を離れて最初に迫る風景で矢ノ川の清流に沿ひ峠新鑿部に入る杉橋の林間を縫ふ箇所が岩魚の背が光る。

#### 二、南谷の石壁

花崗石の岩盤をくりたつ南谷附近で峠の最難嶮。

#### 三、瀧見の橋

瀧と大林と紅葉谷の眺め。

#### 四、猪おとし

第一隧道の出口で猪の通る嶮所。

#### 五、でんから越

古い山道跡で翠巒あふるゝばかり。

#### 六、つむじトンネル大景観

矢ノ川隧道附近でループ式新開鑿路が本邦唯一の山道形式を示してゐる、

#### 七、三木茶屋跡

峠の頂上で尾鷲灣、賀田灣を展望する。

#### 八、ケーブル跡

ケーブル終點の山上に近く設ける眺望臺で、矢ノ川の景観を一眸のうちに收め得る。



昭和十一年九月十四日、殉難者慰靈祭、山祭について午前十時から竣功式が第一隧道入口に於て關係官民多數列席のもとに、莊嚴に取り行はれた。内務省からは細田内務事務官が臨席せられて内務大臣の祝辭を代讀された。式に引續いて午後一時から地元協賛會主催の大祝賀會が尾鷲町大鷲館で舉行され、あたかも尾鷲名物ヤークの祭の前日に當る爲、町内は出し物や餘興の手踊で大賑ひを呈し、町民こぞつて、天嶮の征服と交通文化の進展を祝福した。

矢ノ川峠開鑿工事概要

(津木本線 尾鷲-木本) 四三キロ

- 一、工 費 五八〇、〇〇〇圓
- 一、着 工 昭和九年九月十三日
- 一、竣 工 昭和十一年九月十三日
- 一、施工延長 二六、五九四・〇米

- 新鑿延長ハ七、七六六・〇米ニシテ有效幅員三・五米、
- 橋梁一六ヶ所九一・〇米隧道五ヶ所二〇二・〇米ナリ
- 擴張延長ハ一八、八二八・〇米二〇八ヶ所ニシテ橋梁
- 二九ヶ所、道路一七九ヶ所ナリ

一、新鑿部

平均勾配十九分の一ニシテ最急勾配十五分の一、最小半徑十二米ナリ

一、工事ニ使用セシ主ナル材料

- セメント 三二、二四五袋
- 火藥類 二八、四五五疋
- 石材(積石) 二八、六二四平方米
- 一、使役人員數 二八三、三四〇人
- 新鑿部 一九二、九五〇人
- 擴張部 九一、三九〇人

工 事 報 告

矢ノ川峠開鑿ノ工就リ本日之カ竣功式ヲ舉行セララルニ當リ工事ノ概要ヲ報告スルノ機會ヲ得タルハ小官ノ光榮トスル所ナリ

本工事ハ工費五拾八萬圓ノ豫算ヲ以テ昭和九年九月工ヲ起シテヨリ茲ニ二星霜延人員貳拾八萬參千參百四拾人ヲ要シテ施工區間四拾參軒ニ亘ル工ヲ竣ヘタリ

内新鑿部ハ延長七千七百六拾六米有效幅員參米五拾糶ニシテ平均勾配拾九分之一最急勾配拾五分之一最小半徑貳拾米

ノ線形ヲ有シ橋梁拾六（延長九拾壹米）棧道三（延長四拾

七米）隧道五（延長貳百貳米）ヲ築造シ終端ハ左廻リル

プ式構造ニ依リテ在來道ニ接續センメタリ

擴張部ハ施工延長壹萬八千八百貳拾八米施工個所貳百八

シテ幅員ノ擴張勾配及屈曲ノ緩和橋梁ノ改築又ハ補強ヲ行

ヒテ大型自動車ノ運行ニ支障ナカラシメタリ

本工事ニ使用シタル主ナル材料ハセメント參萬貳千貳百四

拾五袋火藥類貳萬八千四百五拾五疋石材貳萬八千六百貳拾

四平方米ナリ

工事ハ株式會社間組ノ請負施工ニ係リ地勢ノ峻險ト地盤ノ

堅硬ニ禍ヒサレ稀有ノ難工ニ逢著シ大量火藥ニヨリ發破作

業ヲ以テ終始シ遂ヒニ參百餘名ノ死傷者ヲ出シタルモ監督

員並ビニ從業員ハ刻苦精勵克ク工ニ當リ今日ノ成果ヲ見ル

ヲ得タリ本日此盛儀ニ列シ當時ヲ追懷シテ轉々感慨深キモ

ノアリ  
以上ヲ以テ工事報告トス

昭和拾壹年九月拾四日 三重縣經濟部土木課長 上井兼吉

### 三重縣知事式辭

指定府縣道津木本線尾鷲木本間ノ道路工事ガ完成致シマシ  
テ本日ヲトシ茲ニ竣功ノ式典ヲ舉行スルニ至リマシタコト  
ハ私ノ最モ欣快トスル所デアリマス

本路線ハ國道一號線及ヒ木本新宮線ト相接續シテ本縣ヲ南  
北ニ縱走シ軍事ニ産業ニ觀光ニ極メテ重要ナル使命ヲ有ス  
ル幹線道路デアリマス紀州地方ハ輓近鐵道ノ敷設産業ノ發

達ニ伴ヒマシテ交通モ頓ニ殷盛ヲ加ヘテ參ツタノデアリマ  
スガ矢ノ川峠ノ天險ニ阻マレ海路又ハ索道ニ依ツテ纜カニ  
交通ヲ保ツテキタノデアリマシテ一朝荒天ニ際シマシテハ  
交通杜絶ノ止ムナキ状態ニ在ツタノデアリマス、地方官民

ハ夙ニ矢ノ川峠ノ開鑿ヲ翹望シテ居タノデアリマシマスガ工費  
多額ヲ要シ遽カニ之カ實現ヲ期シ得ナカツタノデアリマス  
偶々省營自動車路線ノ豫定線ニ指定セラル、ニ及ビマシテ

機漸ク熟シ鐵道省ヨリ多額ノ負擔金ノ釀出ヲ受ケ又時局臣  
救事業ニヨル國庫ノ補助ヲ仰イデ昭和九年九月工ヲ起スコ  
トトナツタノデアリマス、爾來二ケ年拮据經營稀ニ見ル難

工ヲ續ケ時ニ生靈ノ尊キ犠牲サヘ拂ヒマシテ工費五十八萬圓ヲ以テ遂ニ天險ヲ克服シ八軒ノ新鑿工事ト前後三十五軒餘ニ亘ル擴張工事が竣功致シタノデアリマス

昭和八年伊勢大橋ガ開通シテ東海地方トノ交通カ拓ケ續イテ昭和十年熊野大橋カ完成シテ熊野地方相互ノ連絡成ツテ縣下ノ交通ノ情勢ハ一新サレタノデアリマスガ更ニ本工事ノ竣成ニヨリ縣下ヲ縱走スル幹線道路ノ實現ヲ見タノデアリマシテ正ニ交通史上ニ一新紀元ヲ劃スルモノト謂ヒ得ルノデアリマス

曩ニ指定サレマシタ吉野熊野國立公園ノ開發ハ固ヨリ地方ノ發展ハ將ニ刮目シテ俟ツベキモノアルヲ信シ邦家ノ爲慶賀措ケ能ハサル所デアリマス

本日ノ式典ニ當リ政府竝ニ關係各當局ニ對シテ深甚ノ謝意ヲ表シマスト共ニ長日月ノ間克ク工事ニ精勵セラレタル從業員並ニ犠牲者ニ對シ衷心感謝ノ念ニ堪ヘヌ所デアリマス地方官民諸士ニ於テモ宜シク本工事ノ使命ニ鑑ミ交通運輸ノ精華ヲ發揚シ併セテ國家隆昌ノ盛運ニ寄與セラレムコト

ヲ希望シテ止マナイ次第デアリマス  
一言以テ式辭ト致シマス

昭和十一年九月十四日 三重縣知事 富田愛次郎

### 内務大臣祝辭

府縣道津木本線矢ノ川峠開鑿功ヲ竣ヘ本日茲ニ竣功ノ式典ヲ舉ケラル寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

本道路ハ古來熊野街道ノ一ニ屬シ南紀地方ニ於ケル交通上ノ重要幹線ナルニ拘ラス矢ノ川峠ノ峻坂行路ヲ阻ミ現代交通ノ要求ニ副ハサルコト既ニ久シキモノアリ縣當局曩ニ之カ改修ノ計畫ヲ樹ツルヤ政府亦之ヲ助成スル所アリ昭和九年起工以來茲ニ二年有餘賞ヲ投スル五拾餘萬圓今其ノ完成ヲ見ルニ至ル、惟フニ今後之ニ依リテ尾鷲、木本間ノ連絡ハ勿論南紀地方幹線ノ交通ハ一段ノ利便ヲ加ヘ産業ノ開發文化ノ進展ニ寄與スル所極メテ大ナルモノアルヘシ、冀クハ官民一致維持管理ニ勗メ長ニ其ノ效果ヲ收メラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和十一年九月十四日 内務大臣 潮 惠之輔